

「声が出なくなる」と話題の新型コロナ変異株「ストラタス」が感染拡大中。この夏流行した「ニンバス」とは何が違う？ 海外で急増か】

10/3 bazaar



流行りの新型コロナ「ストラタス（XFG.3）」の症状について、専門家に聞いた。（画像はイメージです）（Getty Images）

ロックダウンやソーシャルディスタンスは過去のものになったとはいえ、残念ながら、そうした厳しい措置を招いた新型コロナウイルスは、依然として存在している。イギリスでは、新型コロナウイルスのオミクロン株から派生した新たな派生した新たなストラタス亜種（XFG.3）が、国内全土に急速な広がりを見せており、感染者は急増。英国保健安全庁によると、この数週間でイギリス国内のコロナ感染者は14.3%増加したという。

日本でも、2025年夏にオミクロン系統の**変異株ニンバス（NB.1.8.1）**が流行し、患者の多くが訴える「カミソリを飲み込んだような激しい喉の痛み」という表現と、その辛い症状が話題を集めた。世界保健機関（WHO）によれば、**ストラタスは**、先行して流行していたニンバスに続く、新たな感染の波だという。

2024年9月第1週と2025年9月第1週とを比べると、新型コロナ関連死亡者数は減少傾向を示した（106人対79人）。しかし、専門家たちは新型コロナが依然として警戒すべき存在であることを認めており、注意すべき主な症状をシェアしている。

注意したい変異株ストラタス変異株の症状

2020年4月、東京・歌舞伎町の歓楽街で、マスクを着用した東京都職員が「外出自粛」を呼びかける様子。

コロナウイルスの主な症状としては、これまでに、しつこい咳や鼻水、味覚や嗅覚の喪失、全身の不快感や熱などが挙げられてきた。そして新たな変異株ストラタスには、下記

の特徴的な追加症状が見られる場合が多いという。



「ストラタスのもっとも顕著な症状のひとつは、声のかすれです。喋るときに声がかすれたり、ガラガラした声になります」と、ロンドンのハーレーストリートの開業医で、ハナ・ロンドン・クリニックの創設者ケイワン・カーン医師。

「もちろん、人によって症状の現れ方は異なり、個人差があります。ですが、ストラタスの症状は総合的に判断して、軽度から中程度の傾向にあると認識しています。症状が風邪やインフルエンザに似ているかどうかに関わらず、コロナ感染の可能性を排除するためには、検査は依然として非常に重要なステップです」と明かす。

また、数日後に症状が急激に悪化した場合や、ハイリスク群（65歳以上の高齢者・妊娠中の女性・慢性肺疾患（慢性気管支炎、肺気腫、気管支喘息）・心疾患などに該当する人）は、早めにかかりつけの医師に相談するようアドバイス。その際、感染拡大リスクを減らすためにも、電話による診療がベストだとカーン医師は述べる。呼吸困難や胸の痛みなど重篤な症状が出ている場合には、迷わず救急車を呼ぶことも重要だ。

冬が近づくにつれ、コロナや他のウイルスの拡散を抑制するためには、引き続き誰もが予防意識を高めていくことが、最適かつ強力な策になると、カーン医師は強調する。

「患者を直接、診察・治療する医師として、予防は治療に勝つということを提唱したいです。コロナは人から人へと簡単に感染します。特に、ウイルスが付着した表面に触れた手で目や鼻、口を触ると感染リスクは一気に高まります」

「また、感染者が咳や息で飛ばした飛沫を吸い込むことでも感染します。ですから、頻繁

な手洗いを徹底すること。そして、咳やくしゃみをしている人とは、1メートルの距離を確保することが、依然として最善の予防策です。混雑した場所へ行く場合にはマスクを着用しましょう。そして、重症化を防ぐためにも、つねに最新の新型コロナワクチンを接種することも推奨します」と述べている。